

崇仁まちづくり計画構想（案）の 具体化に向けた取り組み報告

崇仁まちづくり推進委員会が結成されて1年と9ヶ月がたちました。

この間みなさんと、タウンウォッチングやビジョンゲーム、報告会や各町ブロック別意見交換会などで崇仁のまちのあり方を考えてきました。

また、夏まつりやもちつき大会などで、世代間交流を図りながら、まちを活気づけるとりくみを進めてきました。昨年11月29日には、『崇仁まちづくり計画構想（案）』を発表し、全国から熱い注目を集めています。

住民のみなさんが待ち望んでいたまちの姿が、日を追うごとに明らかになってきています。

「いつまでも安心して住み続けられる豊かなまち」をめざして、「住民が主役のまちづくり」を進めましょう。

役員・委員も全力で、一日も早く新しいまちができるよう、邁進する決意です。

1998年3月 崇仁まちづくり推進委員会

会長 奥田正浩

11月の「崇仁まちづくり計画構想(案)」からこれまでの取り組み

○大幅な移転を伴わない事業の進め方を検討しました。

これからの事業の進め方においては、なるべく同じ町内に住み続けられるようにしたいという意見を取り入れ、大幅な移転を伴わないような住宅建設の計画を検討しました。

そこで、土地利用ゾーニングを見直し、住宅を整備するゾーンを新たに確保することとしました。

○交流ゾーンにおける、機能の充実をめざした検討を行いました。

診療所や、老人福祉施設などの早期建設に向けて、まちの施設整備計画について市とのすりあわせや、土地利用ゾーニングの再検討を行ってきました。

交流ゾーンでは、「保健」「福祉」「医療」「子育て」などの機能が連携し、日々の生活を総合的に支援できるゾーンをめざしています。

○ご近所づきあいができ、安心して暮らせる住宅を考えています。

(仮称) 41棟ブロックは平成10年度に設計が行われます。

この新しい住宅の具体化に向けて、現在のご近所づきあいを続けられる豊かな暮らしをめざし、実際に新しい住宅に住む方々の意見を集め、住宅の設計に反映させる取り組みを行います。

今回は、階段や広場などの共用部分で考えられることを例示しました。

○既存の改良住宅の建て替えや改善を進めるために『南部部会』がスタートしました。

3月5日に第1回南部部会を開催し、東之町、西之町、屋形町、下之町西部の既存改良住宅を対象として、建て替え及び住戸改善についての検討を開始しました。

□ 崇仁まちづくり計画構想（案）の具体化に向けて

◆大幅な移転を伴わないまちづくりに向けて

（課題）

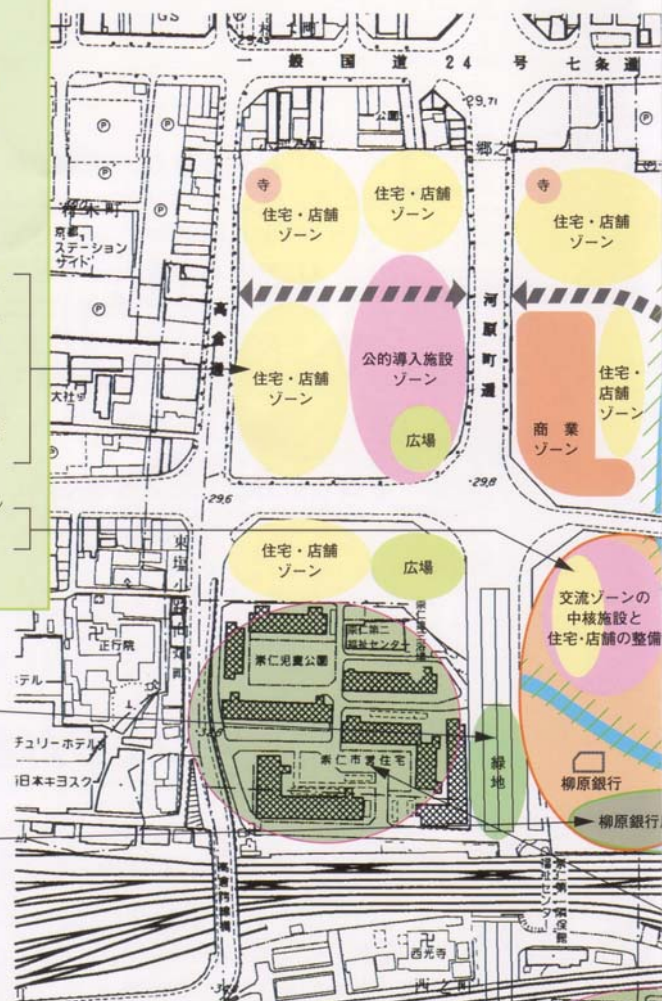
これまでの土地利用の考え方では新設した住宅に対象者が入居して順次整備する考え方のため、住む所が大きく変化する可能性を含んでいました。

（検討内容）

- 河原町北西ブロックの公的施設導入ゾーンを縮小し、住宅・店舗ゾーンを確保しました。このゾーンを活用すれば、河原町通をはさんだ移転をせずに、住宅建設を進めることができます。
- これにより、河原町通をはさんで、東西同時に住宅等の建設を進める方法を考えていきます。
- さらに、今後、早期に事業を展開させるため、交流ゾーンにも住宅を導入することを考えました。

国道24号上部空間を緑豊かな広場とする

柳原銀行記念資料館と高瀬川の一体的な整備の検討と併せて今後の土地利用を考える



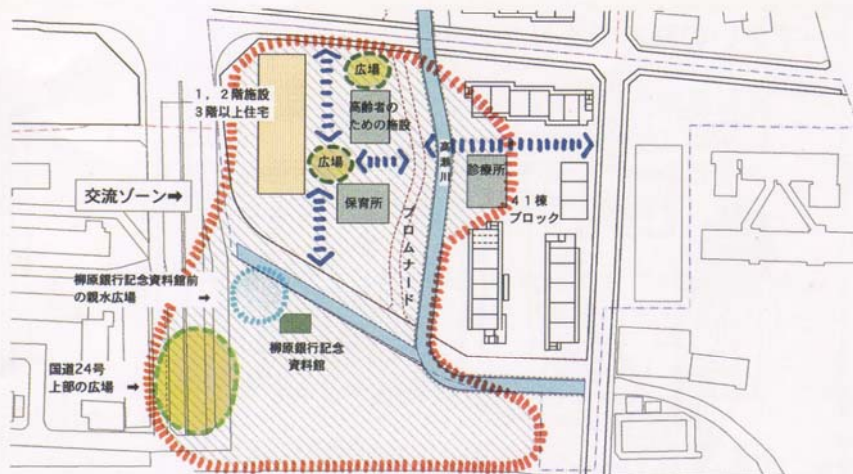
□ 国道24号上部の緑地と柳原銀行記念資料館周辺の整備イメージ



◆交流ゾーンの考え方について

診療所の早期建設と、交流ゾーンの機能の充実を目指して、交流ゾーンの土地利用を検討しました。

□交流ゾーンの機能と施設イメージ



いろいろな施設や機能の集約により、子どもからお年寄りまでが日々の生活を安心して楽しく過ごせ、地区外の人にも開放して交流できるゾーンとして整備します。

鴨川遊歩道の整備

高瀬川整備についての検討を進める

建替計画の検討

既存の改良住宅における環境改善

わかば公園及び鴨川遊歩道の整備

◆既存の改良住宅の改善に向けて

委員会では南部部会を設立して、既存改良住宅の住戸改善、及び建て替えの検討を開始しました。

(部会の目的)

部会ではまず現状把握を行い、住戸改善や建て替えの方策について考え、これからの団地（まち）のあり方をみんなで検討することを目的とします。

(取組の概要)

住宅の建設時期や住宅の実態、国の方針や市の考え方も確認しつつ、入居している方の意見を十分に取り入れ、建て替えや住戸改善の具体的な計画づくりを進めます。

(仮称) 41棟ブロックの具体化に向けて ～こんなことも考えられます～

「集まって住むことが楽しい」住宅をめざして

新しい住宅ではまちに受け継がれている人のつながりを大切に、お互いのプライバシーを上手に守りつつ、みんなで集まって住むことの楽しさを継続できる「まち」をめざします。

(仮称) 41棟ブロックにおいても、実際に住まれる方のご意見を集めながら、設計に反映していく取り組みを行います。

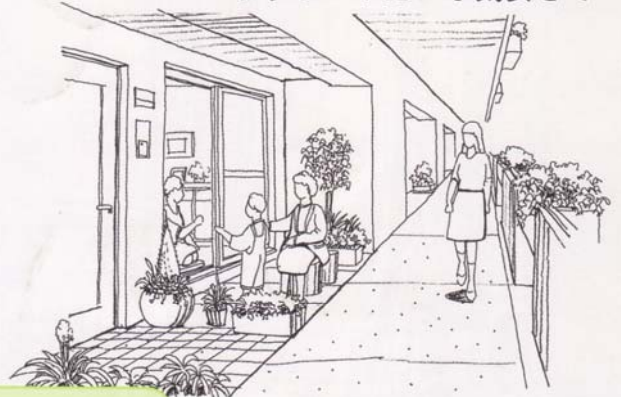
～すまいの顔をつくりたい～



住む人の個性がにじむ玄関まわり。花を植えたり、小物を並べたり…。回覧板を持ったまま、おしゃべりできるスペースに。

私がいて、みんながいて……
私だけの場所があって、
みんなとふれあえる場所がある
いつでも、どこでも
会いたい時に会える“まち”

～“ろうじ”みたいな気安さで～



プライバシーを守りながら、人の気配が感じられる廊下・つづきバルコニー。窓越しに気安く話しかけて、そのまま上がりこんだりして…。

だれもが日に一度は通る階段やエレベーターまわりのひろば。
ベンチを置いておしゃべりできたらいいな。
買い物ぐえりに井戸端会議の仲間入り。



～あの井戸端の感覚で～

だれもが住まいから見下ろせる広場。
“あずまや”があって、まわりはぐるっと花畑。
お茶をのんだり、花いじりをしたり。
「私も降りて行こうかな…」



～窓からのぞくとだれかがいて～

崇仁まちづくり推進委員会がめざす今後のまちづくりスケジュール

(仮称) 41棟ブロックは、平成10年度に設計を行い、11年度から第一期工事が着工する予定です。
平成12年度中の完成をめざしています。

高瀬川の付け替え工事は、平成10年度から、まず下水道工事などの関連工事が着工する予定です。
平成12年度中の完成をめざしています。

崇仁まちづくり計画構想(案)に対するご意見や、まちづくりに関するご質問などを、各町内のまちづくり推進委員や、隣保館までお寄せください。

崇仁隣保館 京都市下京区下之町6-3
☎ 075-371-8220 F A X 075-371-7708

発行者：崇仁まちづくり推進委員会
会長 奥田正治
企画・編集：アルバック
(株)地域計画建築研究所
事務局所在地：京都市下京区下之町6-3
崇仁隣保館内
発行日：1998年3月31日